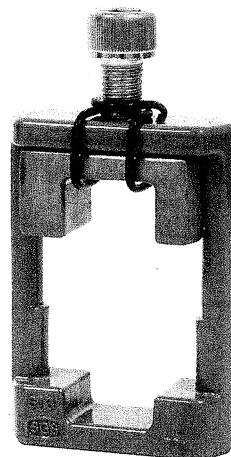
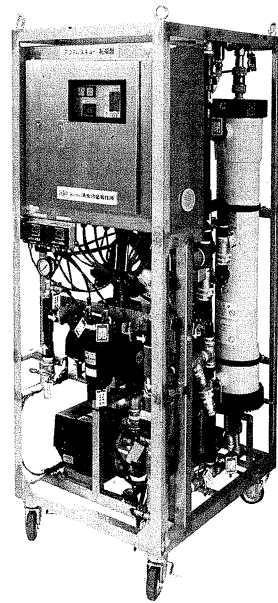


清水合金製作所

奥行きのある「ものづくり」を追求

成熟期の水道界に備災と低コスト化を提案



インタビュー
**持続への提案と
貢献の方向性**

◇日本の縮図が現れた
の通った流れで物事が進
したが、これからの社会
界ではいち早く手を打つ
べく、基盤強化などを掲
げ、競争力を高めること
を目標としている。

——社長に就任して半年、民間企業として水道界に参入され、見えた景目は、

私は以前所屬していた建設師の分野と比較して、水道の分野にはまったく違う印象を持ちます。

ちょうど昨年に水道法

人間にとって非常に重要なものを生み出し、運ぶ、そして安心してご利用いただくというところできちんと管理していかなければならない世界です。

在の水道業界に現れているのではないでしょう。何十年と使用されてきたインフラをいかにして新しいものに入れ替えていくのか、あるいは多発する自然災害を防災のためにどう位置付けるかが目につきました。また、

うごなのだと私は認識しています。

昨年の函館での水道展には当社も出展させていたのですが、研究発表では防災強化をテーマとした事業体の事例発表が

現場の声を拾う感性に磨きを

数ある水道メーカの中でも、当社はバルブに特化したメーカです。

◇良い製品には良い人

要だ」という理念のもとからです。そういう姿勢をいかに抑えるかとい

人に教わりながら、一緒にいます。そうしなければ、災害が必ず来るもの

ういう方向性の商品が必要、市場の声も聞かなくては、だいたい前掲で、その被害をいかに抑えるかとい

す。

社会に応じた製品です。感性

ね。

アクアレスキューは、——現場の最前線に立

1台で浄水場原水、防火 つ社員の方々が、顧客へ

この感性の磨き方は難しいのですが、常にアンテナを張りながら、疑問に感じたことについてデイスカッションを重ねていくことが会社の風土を作ることに必要なのだとひしひしと感じています。

「(会社の) 規模感」
だと思っています。当社には生産本部、技術本部、営業本部がありますが、すべての部署をある程度見ることにできるくらいよく良い規模感です。この規模感だからこそ、次に何

ろのことが、循環しやすいの大きな要素であることが当社の最大の強みです。

しかし、まずは競争の場の中でバルブメーカーとしての役割を果たさなければなりません。

「さすがに欠かせません。維持管理の時代にあつて、こういふ面で好評をいただくとこれは会社として信頼も得つつあるのだと実感しています。」

「アクアシリーズについては『なぜバルブメーカーが水に特化したバルブメーカーです。人の生活が起きているのか、水に関わる流体のバルブには、私たちにどうしてまたさまざまなチャレンジャーがあるか』という視点で、安全な製品を提供したいと考えています。飲料水としての危険性よりも、飲まないもので習慣になつてしまつていることに危機感を覚えていますし、これからの水道のあり方が問われる中で、この機会におけるバルブの持

「親会社のキックスタートは総合バルブメーカーであり、さまざまな流体を取り扱っています。その点では、バルブ業界だけでなく、水道界などいろいろな水道のあり方が問われ、目の前水があるという視点が重要です。この機会におけるバルブの持

くの人々の業を希望してもよいという期待もしもあります。

表面的には、水道の業界は十業群々に比べて変化に乏しい、進歩がない業界に見えちゃうかもしれないですね。でもす——

——ありがとぎに、ありがとうございました。

す。そこで「あめうです。とかと聞き流す」と、「そういことがあのかと疑問に思へいます。太まかに言へ、そういう感性の有無が商品化の実現を分けているのだと思います。」

——社長に就任して半年、改めて貴社の強みは、

す。お客さまの声を常に拾う姿勢は、今後大切にしたいです。

◇維持管理まで丁寧に

とを開発すれば良いのかを考えることができますし、生産上の問題などにも会社のトップとして関与しながら、意思決定をスピーディーに行うことができています。組織のあり方や人の風土はもちろ

い「存在」になってしまっでしよ。その役割を認識して、清水会が動かなければ、清水会が水で境界を必要とする会社は水で境界を必要と思われないと、それが生かすために必要

なことです。ただ規模を大きくするだけが会社の

「水処理製品」に疑問に思われるかも知れませんが、当社は水道の安全性に貢献することを大事にテーマとして掲げており、バルブだけを供給するメーカーではありません。特にアクアシリーズ社でありたいと思います

◇チャンス全可視化

一般的家庭における水道水の年間使用量は60〜70立方メートルに達しており、とてもポトルに詰めてトラックで運搬できる量ではありません。水道管が「各人の考えが生まれ、つたらかうしたい」として新しい発見があるかたしれませんし、「自分たち

活から産業活動までに影響する重要なインフラである水の分野ではどこにも負けないぐらいという水に深く掘り下げ、水の世界にソリューションを提供することができる会社でありたいと思います

どういって困っているのか」とことをバルブに置き換えて、その時に何がテーマとして挙げられるかを考える必要があります。

「一般家庭における水道水の年間使用量は60〜70立方メートルに達しており、とてもポトルに詰めてトラックで運搬できる量ではありません。水道管が各人の考えが生まれ、つたらかうしたい」として新しい発見があるかたしれませんし、「自分たち



目的ではありません。世の中に貢献し続けることが重要なことであり、それができれば世の中の方々に会社を大きくしていただくのではないのでしょうか。

は当社のごままでやるし、皆さまにも認めてい
 たい。この面を深掘りした製 なたけるよう努めていき
 品で、そこに信頼をいた ます。

性。 — 今後の貢献の方向
 一つ心配なのは、今の ちが当たり前のように水
 を使うことができるので を若い人たちにもついでに
 使っていることで、私た する。そういつくわくを

式ボリパイソフト



スをはじめ、前回は、お得意さまに高い評価をいただいた。いまは、消費増税前の需

月には、消費増税前の需

もあり特に忙しい時期

した。その中で、営業

部を通じて「清水合金

メンテを非常に丁寧



マルチガスケット

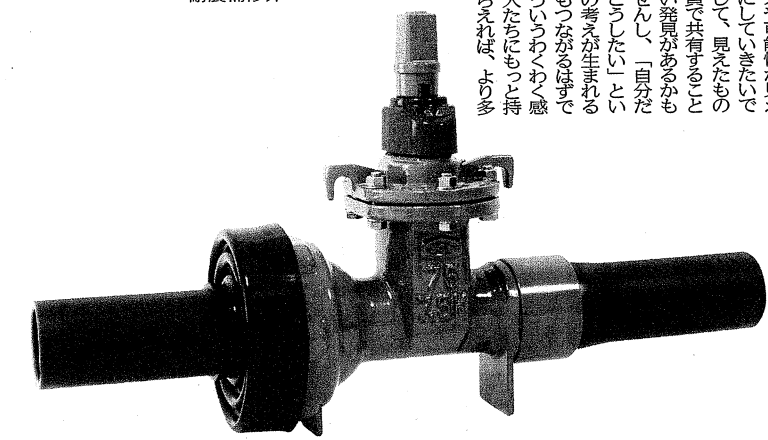
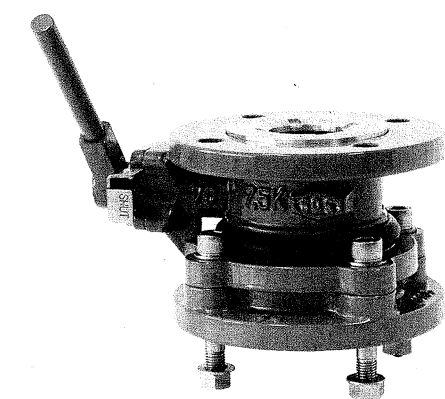
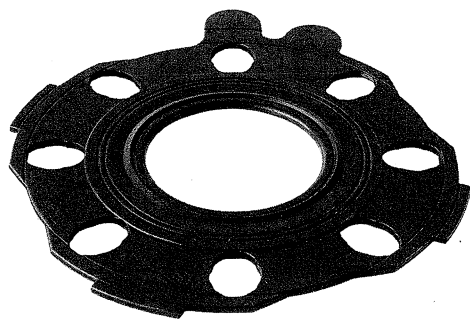


可とう

代表作所 代表取締役社長

小田 仁志氏

「つてくれた」とお褒め
言葉をいただいたきました
水道の製品には滅亡弁
緊急遮断弁など数十年
わたり使用されるもの
多く、定期的なメンテ



当社製品のメンテナ
スを行う部隊は、お客
さまに高い評価をいた
だいてきた。昨年8月や
9月は、消費税増税前の需
求もあり特に忙しい時期
だった。その中で、営業
部を通じて「清水合金
メンテを非常に丁寧にな
つてくれる」とお褒め
言葉をいただきました。

言葉はいただきましたが、
緊急の製品には減圧弁
水道遮断弁など数十年
わたり使用されるもの
も多く、定期的なメンテ

The image displays three distinct industrial parts. The top component is a circular, black, multi-gasket with a central hole and eight smaller holes around its perimeter. The middle component is a shock absorber, featuring a cylindrical body with a threaded rod extending from the top and a mounting bracket. The bottom component is a water pump, showing a cylindrical housing with a central shaft and a mounting bracket.

マルチガスケット

耐震補修弁

可とう式水